

2022年1月9日
礼拝

祈り

聖書

ローマ人への手紙5章1～5節

5:1 ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

5:2 またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。

5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、

5:4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。

5:5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

説教

この希望は失望に終わる事はありません。

希望は恥を来たらせず(文語訳聖書)
希望は羞(はぢ)を来たらせざるを知る(明治訳聖書)
希望は私たちを欺くことはありません。(新共同訳)

5章1～5節には大切なことばが沢山出て来ます。

信仰による義



神との平和



神の栄光を望んで喜ぶ



艱難も喜ぶ

艱難



忍耐



練られた品性



希望



この希望は失望に終わることがない

信仰に生きる事

信じる事によって義とされた
人生、生活はどのようになるのか。
思いと働きにおいて心に平和を持ち
神の栄光のために積極的に生き
艱難の中でも忍耐が与えられ
成果や結果を見なくても
希望を持って生きる生き方

パウロの救われた後の人生
神の栄光のために働き、
よろこびを持って主に仕え
地中海世界くまなく伝道の旅、
沢山の手紙を書いた。

草津キリスト教会の42年のあゆみ
年末にはスプロック先生の証しを聞いた
1980年～ スプロック先生の10年
1990年～ ガウブ先生の25年
成果、結果を見ておられた訳ではない
でも
喜んで希望を持って主に仕えておられた

この希望は失望に終わることがない。

希望はどのようにして持つことができるか

高校大学 入学の希望

就職の希望

スポーツ選手の希望

自分の願望達成の希望

自分の夢の実現の希望

自分の力での希望の実現
人間の社会組織の中での夢、希望の実現
すべての人が可能な訳ではない
いつも可能な訳ではない

社会の変化、
自分の能力体力の限界、力不足により
希望が消滅
挫折、絶望

聖書の語る「この希望」は
神の救いを信じ、義とされた所から始まる。

私たちもいただいているこの信仰は
神との平和、神が与える平安、社会情勢、環境が変化
しても失せない消えない平安が心にある。
祈って導かれた事を行う、うまくいかない、
しかし心に平安がある。この平安を確認する事、
平安をよりどころにして生きることが大切。
平安があるのに慌てて見失わない様に。

この平安を握りしめる、確保する、認め、確認する

その時、艱難、問題さえ益としてくださる

希望、信仰が覆される事はない。

失望に終わる事のない希望は神様からの平安に支えられて
います。

パウロはコリントで西の方面を見やり
遙か彼方のローマに行ける日を祈り希望を持ってこの手
紙を書いています。

ローマ1章10節

「いつも祈りのたびごとに、神のみこころによって、何とかし
て、今度はついに道が開かれて、あなたがたのところに行け
るようにと願っています。」

ローマ15章25節

「ですが、今は、聖徒たちに奉仕するためにエルサレムへ
行こうとしています。」

パウロのローマへ行くという希望はどのようにして
実現したのか。

パウロは聖徒に奉仕するためにローマとは逆の
エルサレムへ行き、

そこで逮捕投獄、カイザリヤの牢獄で2年間放置。

その後囚人として護送されてローマへ船の旅。

その船も難破して命からがらマルタ島へ上陸。

やっと護送される囚人としてローマに行く希望が実現した。

その間数年間、獄中にいても「この希望」に支えられて
失望絶望から守られた。

働きのない、結果の出せないアブラハムは如何でしょうか。
失望絶望しないで100歳になってやっと結果を出しています。
良い行いのないダビデ、最悪のスキャンダルを犯してしまったど
ん底の時も、主の平安、主の赦しを信じて、
罪を告白して赦され、失望しないで、この神の希望に生きる人
生、恥で終わらない人生を全うしました。

この一年、私たちには弱さ、欠け、問題がありましても、
神様の平安をしっかりと握りしめて
失望に終わる事のない日々、
希望を抱いて歩みましょう。

祈り